

HiKOKI

取扱説明書

用途

- パイプ・アングルの切断
- 各種木材の切断
- 軟鋼板、アルミ板、銅板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂の切断
- 各種化粧板、薄物軟質新建材の切断

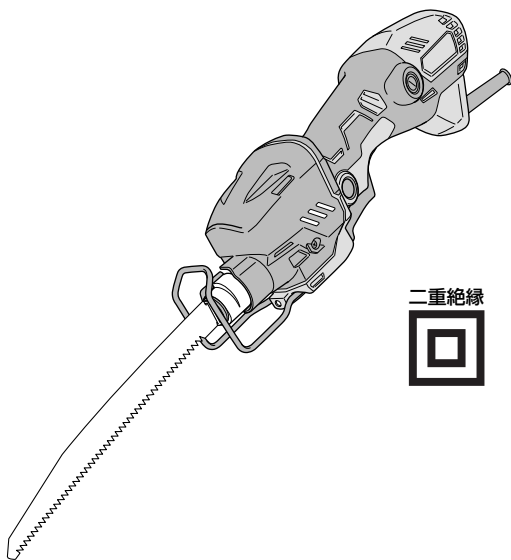
セーバソー

CR 12VY

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



一般安全規則	1
電動工具の安全上のご注意	3
二重絶縁について	6
本製品の使用上のご注意	6
各部の名称	8
仕様	8
標準付属品	9
別売部品	10

はじめに

ご使用前の準備	15
ご使用前の点検	16

準備

基本機能について	17
ガードの交換	18
セーバソーブレードの取付け・取りはずし	19
ジグソーブレードの取付け・取りはずし	21
切断する	23

使い方

保守・点検	26
ご修理のときは	裏表紙

その他

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

一般安全規則

警告

すべての説明書を良く読んでください。

次に示すすべての指示に従わない場合は、感電、火災または重傷を招く恐れがあります。次に示すすべての警告における " 電動工具 " という用語は、電源式 (コード付き) 電動工具または電池式 (コードレス) 電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓して、十分な照明を確保してください。散らかった暗い場所は事故を招く恐れがあります。
- 2) 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがあるところでは、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させることがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近付けしないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなる場合があります。

b) 電気的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造しないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクは低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体の接触を避けてください。
身体が接地された場合は、感電のリスクが増大します。

戸外で使用する際には、3)~5) の注意が必要です。

- 3) 電動工具は、雨または湿気がある状態にさらさないでください。電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大します。
- 4) コードを乱暴に扱わないでください。電動工具を移動させたり、引っ張ったり、または電源プラグを抜くためにコードを利用しないでください。コードは、熱、油、角のとがったところ、または動くものからはなしておいてください。コードが損傷したり、絡まったりすると、感電のリスクが増大します。
- 5) 電動工具を戸外で使用するときは、戸外の使用に適した延長コードを使用してください。戸外の使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは低減されます。

c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断をせず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは、電動工具を使用しないでください。電動工具を使用している間の一瞬の不注意で、深刻な人的傷害をもたらす場合があります。
- 2) 安全保護具を使用してください。常時、保護メガネを装着してください。適切な状態で防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメットまたは耳栓などの安全保護具を使用することで、傷害事故が低減されます。

- 3) 不慮の始動を避けてください。電源プラグをさし込む前に、スイッチがオフの位置にあることを確認してください。指をスイッチにかけて電動工具を運んだり、またはスイッチがオンになった電動工具の電源プラグをさし込むと、事故を招く恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチをはずしてください。電動工具の回転部分にレンチまたはキーを付けたままにしておくと、人的傷害をもたらす恐れがあります。
- 5) 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場とバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服や装飾品は身に付けしないでください。髪、服および手袋を回転部に近付けないでください。だぶだぶの服、装飾品または長髪は、回転部に巻き込まれる場合があります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。

d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を無理に使用しないでください。用途に合った正しい電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
- 2) スイッチで始動および停止操作のできない場合、その電動工具は使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険ですので、修理を依頼してください。
- 3) 調整を行う前、付属品を交換する前、または電動工具を保管する前には、電源プラグをコンセントから抜くか、または電動工具から蓄電池をはずしてください。このような予防的 안전手段によって、電動工具を誤って始動させるリスクが軽減されます。
- 4) 使用しない電動工具は、子供の手の届かないところに保管し、電動工具に不慣れな者や取扱説明書を読んでいない者には電動工具を使用させないでください。電動工具を扱い慣れていない者に渡すと危険です。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動作に影響する恐れがある可動部分の心ズレまたは結合、部品の破損およびその他の状態を点検してください。異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。電動工具の保守が不十分であることが、多くの事故の原因となります。
- 6) 先端工具は、鋭利かつ清潔に保ってください。先端工具を適切に手入れして鋭利にしておけば、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および実施する作業を考慮して、それらの取扱説明書に従って使用する電動工具に合うように使用してください。意図された作業と異なる作業に電動工具を使用すると、人的傷害をもたらす恐れがあります。
- 8) 電動工具は25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

e) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正交換部品だけを用いて行ってください。これによって、電動工具の安全性を維持することができます。

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
電動工具を使用中、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

⚠ 警告


- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⚠ 警告

- 15** 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- 16** 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- 17** 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 18** 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- 19** 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- 20** 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- 21** 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- 22** 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなりま
す。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、セーバソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② **直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。**
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
- ③ **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
 - 埋設物があるとブレードが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
 - 誤って電線を切断してしまった場合の感電防止のため、使用中は本体金属部に触れないでください。
- ④ **使用中は、機体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑤ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ **誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレードや機体などに破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑦ **シリカや石綿（アスベスト）は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。**

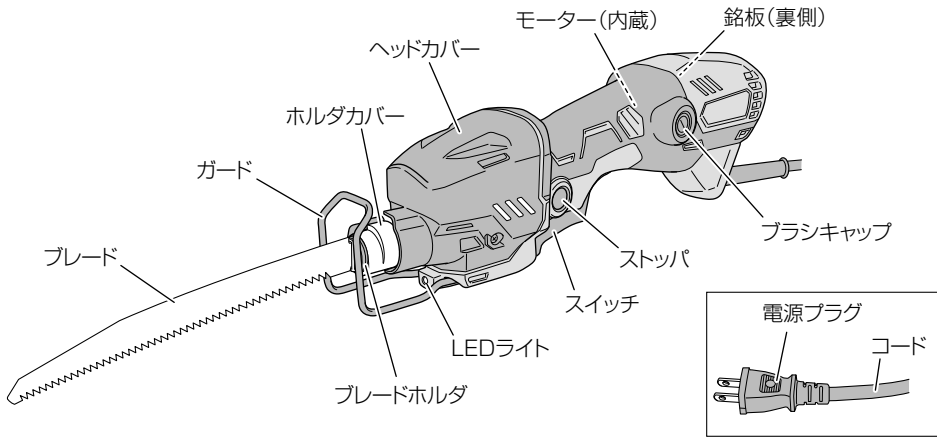
⚠️ 注意

- ① ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ③ 作業直後のブレード、ホルダカバーは高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ ブレードでコードを切断しないように注意してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。



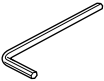
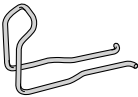



各部の名称



仕様

形 名		CR 12VY
使用電源		単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
切断能力	塩ビパイプ	外径 120 mm
	木材	厚さ 55 mm
	軟鋼材	厚さ 3.5 mm
	鋼管	外径 25.4 mm
モーター		単相直巻整流子モーター
絶縁構造		二重絶縁
全負荷電流		3.4 A
消費電力		320 W
無負荷ストローク数		0 ~ 5,500 min ⁻¹ { 回 / 分 }
ストローク量		10 mm
寸法 (全長×全幅×全高)		329 × 68 × 109 mm
質 量		1.4 kg (コードを除く)
コ ー ド		2心キャブタイヤケーブル 5 m
LED ラ イ ト		白色LED

標準付属品

品名	形名(仕様)	CR 12VY	CR 12VY(N)
ブレード 江戸目(細目)		1 枚	1 枚
ブレード No.107 (ステンレス・鋼管用)		1 枚	1 枚
六角棒スパナ (3 mm)		1 個	1 個
ガード (出荷時本体装着) (黒色)		1 個	1 個
アタッチメント (ジグソーブレード用)		1 組	—
ジグソーブレード用ガード (銀色)		1 個	—
ケース		1 個	—

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください)

用途に応じた別売部品をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

各種ブレード

作業の能率や仕上げを良くするために、加工材の材質や厚さに適したブレードをお選びください。

- 注**
- 表中の最大加工物寸法は、ブレードとして切断可能な寸法であり、本機の切断能力とは異なります。切断能力は P.8「仕様」を参照してください。
 - 表中に記載してあるブレードをご利用ください。表中以外のブレードも取付きますが推奨はできません。
 - 加工物の形状・厚さと、ブレード形状の組合せによっては切断中にロックすることがありますのでご注意ください。

【セーバソーブレード一覧】


湾曲タイプ

〈木材用・リフォーム作業用〉

ブレード No.	用途	山数 (インチ)	寸法 (mm)		木材	ALC	鉄材						非鉄金属 アルミ・ 黄銅・銅	合成樹脂 塩ビなど							
			全長	刃厚			ステンレス材		軟鋼材		管材	板材		管材	板材	管材	板材				
							外径	厚さ	外径	厚さ								外径	厚さ	外径	厚さ
							厚さ	厚さ	厚さ	厚さ								厚さ	厚さ	厚さ	厚さ
江戸目 [*] (細目) 木工用 竹の切断にも最適	15	200	アサリ 1.3	110 以下	-	-	-	-	-	-	-	-	110 以下	2.2 ~ 15	10 ~ 60						
江戸目 (荒目) 木工用 竹の切断にも最適	10	200	アサリ 1.3	110 以下	-	-	-	-	-	-	-	-	110 以下	2.2 ~ 15	10 ~ 60						

※ 標準付属品と同仕様

ストレートタイプ

ブレード No.	切断目安 (mm)		山数 (インチ)	寸法 (mm)		鉄材						非鉄金属 アルミ・ 黄銅・銅	合成樹脂 塩ビなど						
	厚さ 	適用 管材		全長	刃厚	ステンレス材		軟鋼材		管材	板材		管材	板材	管材	板材			
						外径	厚さ	厚さ	外径								厚さ	厚さ	厚さ
						厚さ	厚さ	厚さ	厚さ								厚さ	厚さ	厚さ
No.111	↑ 2 以上	極厚・ ステン レス 管材	8~10 コンビネ ーション	150	1.1	60 以下	3.0 以下	3.0 以下	60 以下	4.0 ~ 10	3.0 ~ 19	5 ~ 20	60 以下	2.2 ~ 15	10 ~ 60				
No.101		厚物・ ステン レス 管材	10	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~ 6	2.5 ~ 19	5 ~ 20	60 以下	2.2 ~ 15	10 ~ 60				
No.103			14	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~ 6	2.5 ~ 19	5 ~ 20	60 以下	2.2 ~ 15	10 ~ 60				
No.114		2 以上	14~18 コンビネ ーション	150	1.1	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	2.5 ~ 8	2.5 ~ 19	5 ~ 20	60 以下	2.2 ~ 15	10 ~ 60				
No.109	↓ 2 以下	薄物・ ステン レス 管材	18	150	0.9	60 以下	2.0 以下	2.0 以下	60 以下	2.0 ~ 6	2.0 ~ 19	5 ~ 20	60 以下	2.2 ~ 15	10 ~ 60				
No.107 [*]			スパイラルダクト等の 薄物切断用	24	150	0.9	60 以下	2.5 以下	2.5 以下	60 以下	3.5 以下	3.5 以下	5 ~ 20	60 以下	2.2 ~ 15	10 ~ 60			

※ 標準付属品と同仕様

ストレートタイプ 〈木材用・リフォーム作業用〉

ブレード No.	用途	山数 (インチ)	寸法 (mm)		木材	ALC	鉄材						非鉄金属		合成樹脂		
			全長	刃厚			ステンレス材				軟鋼材		アルミ・ 黄銅・銅		塩ビなど		
							管材		板材		管材		板材		厚さ	塩ビなど	
							厚さ	外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	厚さ		外径	厚さ
No.132	リフォーム 用	6~11	203	1.3	110 以下	-	110 以下	2.5 以下	2.5 以下	110 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	110 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.5	木工用	9	120	0.9	50 以下	-	-	-	-	-	-	-	-	40 以下	2.2 ~5	5 ~30	
No.4	木工用	3	160	0.9	50 ~100	-	-	-	-	-	-	-	-	80 以下	2.2 ~10	10 ~60	
No.7	木材 曲線 切り用	9	95	0.9	曲線切り 30以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

ハイス材タイプ 〈軟鋼材用・ステンレス用〉

ブレード No.	用途	山数 (インチ)	寸法 (mm)		木材	ALC	鉄材						非鉄金属		合成樹脂		
			全長	刃厚			ステンレス材				軟鋼材		アルミ・ 黄銅・銅		塩ビなど		
							管材		板材		管材		板材		厚さ	塩ビなど	
							厚さ	外径	厚さ	厚さ	外径	厚さ	厚さ	厚さ		外径	厚さ
No.96	ステンレス 薄物用	18	120	0.9	-	-	40 以下	2.5 以下	2.5 以下	40 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	40 以下	2.2 ~5	10 ~60	
No.95	ステンレス 薄物用	18	195	0.9	-	-	115 以下	2.5 以下	2.5 以下	115 以下	2.5 ~6	2.5 ~19	5 ~20	115 以下	2.2 ~15	10 ~60	
No.6	軟鋼材 曲線切り用	24	95	0.9	-	-	-	-	-	-	-	曲線切り 3.5以下	曲線切り 5以下	-	-	-	

【ジグソーブレード適正一覧表】

*アタッチメント(ジグソーブレード用)とガード(銀色)を使用してください。

〈木工用・特殊材料用〉

主要切断材料	ブレード No.	山数 / 1 インチ	全長 (mm)	刃厚 (mm)	切断能力 (mm)	
					木材、合板	塩ビ、プラスチック、 アクリル
木材	No.1	9山	88	1.0	20～45	－
	No.2	12山	83	1.0	20以下	3～20
	No.3	25山	70	1.0	2～20(ベニヤ)	－
	No.1 (ロング)	6山	160	1.5	105以下	－
	No.11	8山	105	1.2	5～55	5～20
	No.31	9山	105	1.0	20～55	－
	No.12	20山	77	0.9	20以下	10以下
	No.42	13山	77	1.0	2～15	－
	合板用	25山	77	1.0	2～20(ベニヤ)	－
	曲線切り	14山	77	1.0	20以下	－
	No.21 (仕上用)	6山	105	1.5	5～55	5～20
	No.22 (仕上用)	10山	105	1.5	3～40	3～15
	No.41 (仕上用)	8山	116	1.5	10～65	－
No.1 (仕上用)	12山	82	1.2	2～40	3以下	
合成樹脂	No.4	13山	83	1.0	－	3～20
FRP	グリッド	－	83	0.8	FRP 板厚 10mm	

〈金工用〉

主要切断材料	ブレード No.	山数 / 1 インチ	全長 (mm)	刃厚 (mm)	切断能力 (mm)			
					軟鋼板	ステンレス	アルミ 非金属	塩ビ プラスチック アクリル
鉄材	No.123X	10~21山	100	1.0	1.5~10	-	-	-
	No.15	8山	77	0.9	3~6	-	3~10	5~15
	No.16	25山	77	0.9	3以下	-	3以下	5以下
	No.5A (押切刃)	25山	77	0.9	1.7~3.0	-	2~4	-
	No.6A (押切刃)	32山	77	0.64	1.6以下	-	2以下	-
	曲線切り	25山	77	1.0	2以下	-	-	-
ステンレス	No.50	13山	92	0.9	2.5~6.0	2.0~3.2	3~13	5~15
	No.51	21山	92	0.9	1.5~5.0	1.5~2.5	5以下	5~20
	No.52	32山	92	0.9	3.0 以下	0.5~1.5	3以下	5以下
	No.97	21山	77	1.0	2~5	1.5~2.5	5以下	5~15
	No.95	18山	83	0.93	3~6	1.5~3.2	3~12	5~20

ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
0.75	20
1.25	40

ご使用前の点検

⚠ 警告

ご使用前に次のことを確認してください。手順①、②については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

1 スイッチが切れていることを確かめる

- スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- スイッチストッパが押されたままになっていないか、一度スイッチを引き、はなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。
(P.17「スイッチについて」参照)

2 電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。また、直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

3 コンセントを確かめる

電源プラグをコンセントへさし込んだとき、電源プラグがガタついたり、すぐ抜けてしまう場合にはコンセントの修理が必要ですので、お近くの電気工事店などにご相談ください。
そのまま使用を続けると、過熱して発火や事故の原因になります。

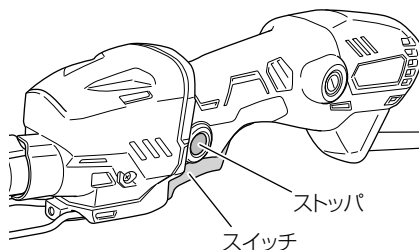
基本機能について

●スイッチについて

スイッチは、引くと入り、はなすと切れますので、指をはなしたときスイッチが戻ることを必ず確認してください。

スイッチの引込み量でストローク数が無段階(0~5,500 min⁻¹)に変わります。切断開始時はスイッチを少し引いて、ゆっくりスタートしてお使いください。

スイッチをいっぱい引いてストッパ(右図)を押すと、指をはなしてもスイッチは入ったままで、連続運転になります。再びスイッチを引いて、ストッパがはずれてから指をはなすと、スイッチが切れます。



●LEDライトについて

⚠注意

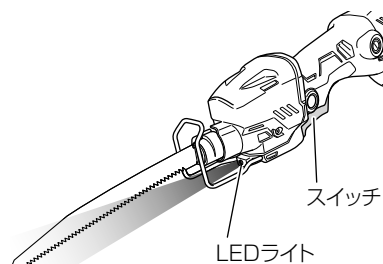
LEDライトをのぞき込んで、直接LEDライトの光を目に当てないでください。

LEDライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

スイッチを引くと、LEDライトが点灯します。
はなすと消灯します。

注 LEDライトのレンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、LEDライトのレンズ部に傷が付かないように注意してください。

LEDライトのレンズ部に傷が付くと、明るさが低下する原因になります。



●機体の保持と押し付け力について

使用中は機体を確実に保持してください。

また、機体を必要以上に押し付ける必要はありません。機体をこじる力や押し付ける力が過度にかかると、ブレードの早期摩耗や破損、機体の故障の原因になりますのでご注意ください。

ガードの交換

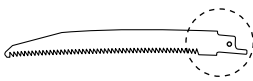
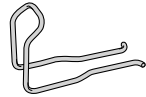
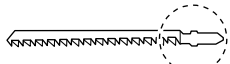


下表のように、使用するブレードの種類により取付けるガードが異なります。

使用するブレードの種類に合わせ、ガードを交換してください。

注 ジグソーブレードを使用するときは、ジグソーブレード用ガード（銀色）とアタッチメントをセットで取付けてください。

警告

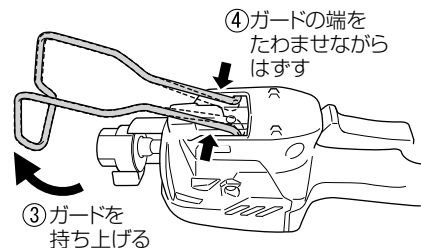
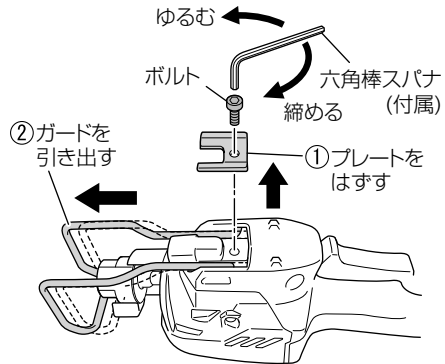
ガードの交換の際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用するブレードの種類	ガード	アタッチメント
セーバソーブレード 	セーバソーブレード用（黒色） 	不要
ジグソーブレード 	ジグソーブレード用（銀色） 	

1 ボルトを付属の六角棒スパナでゆるめて、プレートをはずします。

2 ガードを引き出し、ガードを持ち上げて、端を少したわませながら、ガードを取付け溝からはずします。ガードの取付けは、逆の手順で行ってください。

3 ガードを取付けた後、ボルトを付属の六角棒スパナで十分に締付けてください。



セーバソーブレードの取付け・取りはずし

⚠警告

- ブレードの取付け、取りはずしの際は、万一の事故を防止するため必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ブレードを引っ張るときは、必ずブレードの背面を引っ張ってください。刃のついている部分を引っ張ると、けがの原因になります。

注 ブレードを交換するときには、切粉などがブレードさし込み口に溜まらないように掃除してください。

⚠注意

- ブレードは、切粉を良くふき取り、確実に取付けてください。取付けが確実でないと、ブレードがはずれ、けがの原因になります。
- ブレードの刃に触れないでください。けがの原因になります。
- 使用直後のブレード、ホルダカバーは、高温になっているので触れないでください。やけどの原因になります。

ツールレス着脱機構を搭載していますので、スパナやレンチなどの工具を使用しないでセーバソーブレードの取付け・取りはずしができます。

取付け方

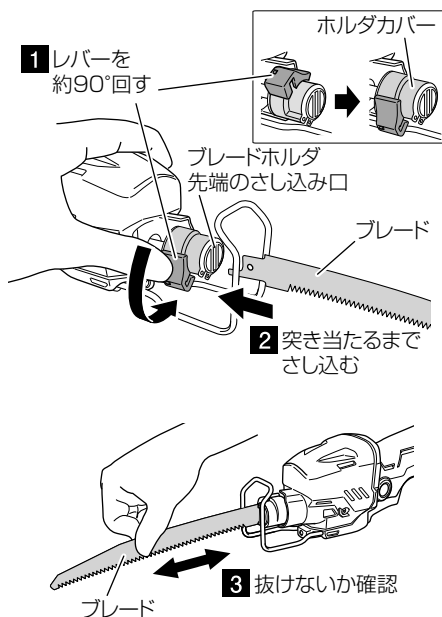
1 レバーを、矢印の方向に約 90° 回します。

2 その状態で、ブレードをブレードホルダ先端のさし込み口から突き当たるまでさし込みます。

3 レバーから指をはなすと、さし込み口が自動的に元の位置に戻り、ブレードが固定されます。

ブレードを軽く引き、抜けないことを確認してください。

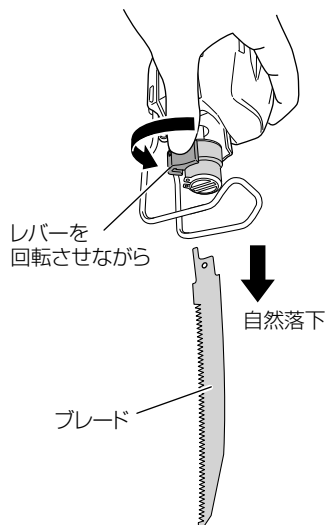
注 ブレードを軽く引いたとき、「カチッ」と音がして固定されるときもあります。



取りはずし方

- 4** 取付けたときと同様に、レバーを矢印の方向に回転させ、ブレードを下に向けて、自然落下させます。

自然落下しない場合には、刃先に注意しながらブレードの背面を指で引っ張って取りはずしてください。



ブレードが折れた場合

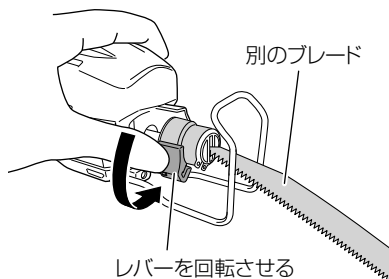
ブレードが折れてブレードホルダのスリットの内部に残ってしまった場合は、レバーを回転させ、ブレードを下に向ければ、折れたブレードは自然に落下します。自然落下しない場合には、次の方法で取りはずしてください。

- 折れたブレードの一部がスリットから飛び出している場合：

レバーを回転させ、飛び出した部分を指で引き、取りはずします。

- 折れたブレードがスリットの内部にかくれてしまった場合：

レバーを回転させ、別のブレードの先端部分を使って、折れたブレードを引っ掛けて取りはずします。



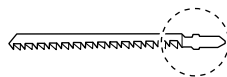
ジグソーブレード (別売部品) の取付け・取りはずし

⚠ 警告

- ブレードの取付け、取りはずしの際は、万一の事故を防止するため必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ブレードを引っ張るときは、必ずブレードの背面を引っ張ってください。刃のついている部分を引っ張ると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ブレードは、切粉を良くふき取り、確実に取付けてください。取付けが確実でないと、ブレードがはずれ、けがの原因になります。
- ブレードの刃に触れないでください。けがの原因になります。
- 使用直後のブレード、ホルダカバーは、高温になっているので触れないでください。やけどの原因になります。
- ジグソーブレードは、下図の取付け部形状を使用してください。



- 注**
- ブレードを交換するときには、切粉などがブレードさし込み口に溜まらないように掃除してください。
 - ボルトはしっかりと固定してください。ボルトがゆるむと、ジグソーブレード折損の原因になります。

アタッチメントとジグソーブレード用ガード(銀色)を使用すれば、ジグソーブレード(別売部品)を取付けて切断作業ができます。

(CR 12VY(N)の場合、アタッチメントとジグソーブレード用ガードは別売部品です。)

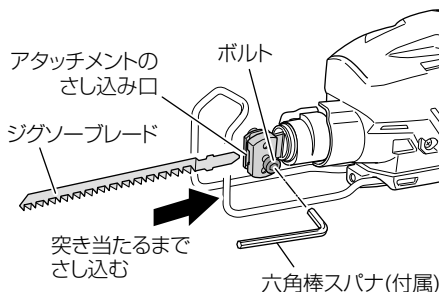
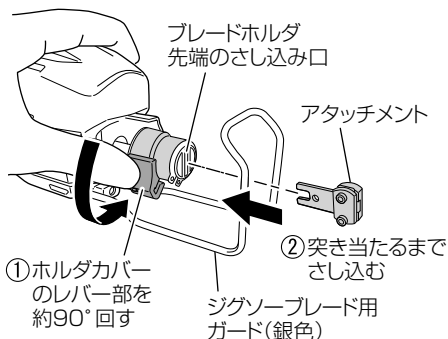
取付け方

1 ガードをジグソーブレード用ガード(銀色)に交換します。
(P.18「ガードの交換」参照)

2 本体のブレードホルダに、アタッチメントを図のように取付けます。
アタッチメントを軽く引き、固定されたことを確認してください。

3 アタッチメントのボルトをゆるめ、ジグソーブレードを先端のさし込み口から突き当たるまでさし込みます。

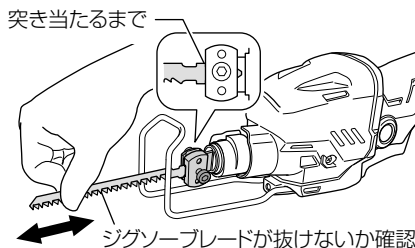
4 付属の六角棒スパナで、ボルトを十分に締付けます。
ジグソーブレードを軽く引き、抜けないことを確認してください。



取りはずし方

5 取付けたときと逆の手順で行ってください。

注 再度セーバソーブレードを使用する場合は、セーバソー用のガード(黒色)に交換してください。



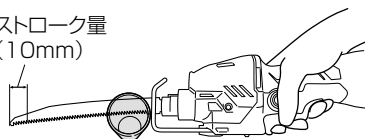
切断する

- パイプ、アングル ● 各種木材
- 軟鋼板、アルミ板、銅板など
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂
- 各種化粧板、薄物軟質新建材

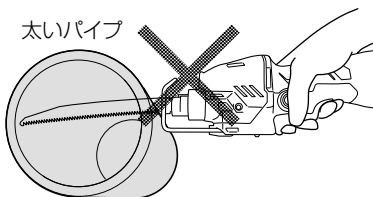
警告

- 手順②および作業中断時や作業後は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 切断中は切粉が飛散するので、必ず保護メガネとマスクを使用してください。
- ブレードの長さは、下図に示すようにストローク量 (10 mm) を引いたブレードのガードからの突き出し長さが、切断材料より十分大きくなるように選んでください。ブレードの切断能力以上の太いパイプや大きい木材などを切断すると、ブレード先端がパイプ内壁または木材に当たって、ブレードを折損する恐れがあります。

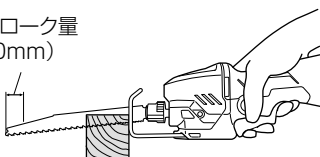
ストローク量
(10mm)



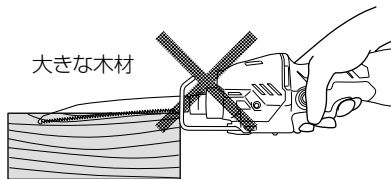
太いパイプ



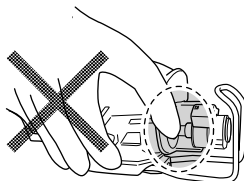
ストローク量
(10mm)



大きな木材

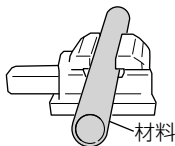


- 作業中にヘッドカバーを握らないでください。また、下図の範囲に指を入れないでください。思わぬけがの原因になります。



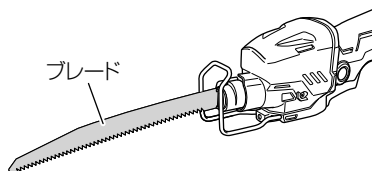
1 切断材料を固定する

クランプや万力などで、切断材料がしっかり固定されているかを確認してください。



2 ブレードを取付ける

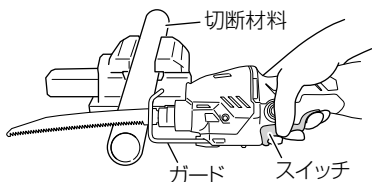
切断材料の材質・厚さ・大きさに適したブレード(種類・長さ)を使用してください。



3 電源プラグをコンセントにさし込む

4 スイッチを入れる

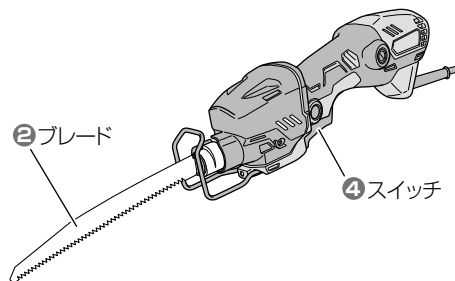
- 切断箇所にブレード位置を合わせてガードを切断材料に押し当て、ゆっくりスイッチを引きます。
- ブレードが切断位置に位置決めできたら、徐々にスピードを速くします。
- 金属切断時には、切削油(タービン油など)を使用してください。



⚠️ 注意

- 材料はしっかりと固定してください。
- ブレードが材料に触れた状態でスイッチを入れないでください。反動で本体が浮き上がる場合があり、けがの原因になります。
- 切断時は、無理な力を加えないでください。ブレードを折損する恐れがあります。
- 小さな円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。無理に速く送ると、ブレードを折損する恐れがあります。
- 連続して使用したときは、機体が熱くなります。特に先端の金属部は熱くなりますので不用意に触れないでください。やけどの原因になります。

- 注**
- 切粉などがブレード取付け部周辺の凹部にたまるときには、その都度、清掃しながら作業してください。
 - 金属切断時は切削油を使用してください。切削油を使用しないと、ブレードの寿命が極端に短くなります。



- 注**
- 低速で長時間の連続作業は、モーターに無理がかかり、故障の原因になります。特に、切断中にブレードが停止するような、無理な使い方はしないでください。

● 使い方のコツ

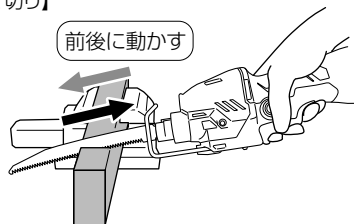
手のこ作業と同じ、本体を引き切り（前後動）のように動かすことで、ブレードの目に詰まった切粉が落ち、効率良くスピーディに切断できます。

一般的なセーバソー（ストローク量が大きい）と同じ感覚で本体を押さえ付けただけでは、すぐにブレードが目詰まりし、切断スピードが遅くなります。

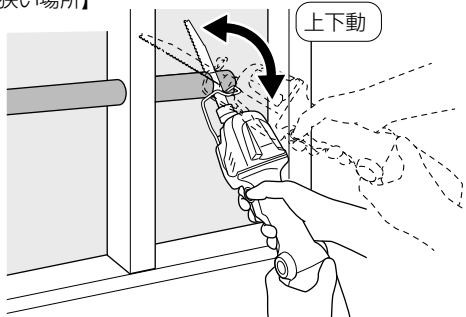
また、引き切りのスペースがない狭い所では、切断幅の手前側と奥側を交互に上下させることで、目詰まった切粉を落としながら切断できます。

ジグソーブレードを取付けて窓を抜く場合は、あらかじめドリルなどでブレードが入る穴をあけ、その穴にブレードを入れて切断してしてください。

【引き切り】



【狭い場所】



保守・点検

⚠ 警告

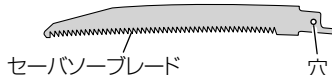
- 点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- エアガンなどを用いて清掃する際には、保護メガネと防じんマスクを使用してください。
飛ばされた切粉を吸い込んだり、目に入る可能性があります。

● ブレードの点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。
早めに新品と交換してください。

⚠ 警告

穴部が摩耗したセーバソーブレードを使用しないでください。
はずれたりし、けがの原因になります。



● ブレード取付け部の清掃

ブレード取付け部周辺の凹部に切粉・土・砂・水分などを付着したままにしておくと、ブレードホルダ周辺部がさびついて機体内部の故障の原因になります。
清掃してください。

注 この刃取付け部をいつも円滑に動かすため、ご使用後は、切粉・土・砂・水分などをエアで吹き飛ばすか、ブラシなどで清掃してください。

● 機体の点検

各部分品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.7「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●お手入れする

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

また、定期的にご車カバーを開けて、フレーム内にたまった切粉を取り除いてください。

●製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

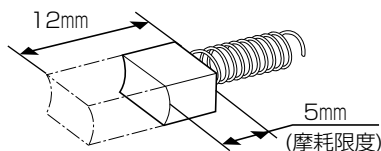
- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(5 mmぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

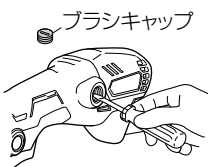
注 新品のカーボンブラシと交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。



●カーボンブラシの交換方法

1 古いカーボンブラシを取り出す

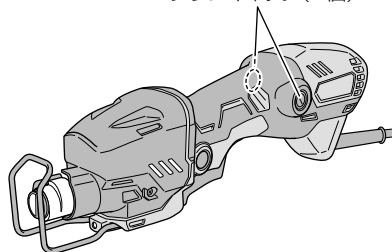
マイナスドライバーなどでブラシキャップをはずして、古いカーボンブラシを取り出します。



3 ブラシキャップを取付ける

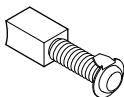
ブラシキャップでカーボンブラシを押し込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

ブラシキャップ(2個)



2 新しいカーボンブラシを取付ける

ブラシホルダの角穴に合わせてカーボンブラシを指で押し込みます。



ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>